皆野中だより　11月号

令和８年１１月２日発行　第８号

皆野町立皆野中学校　TEL 62-0432　FAX 62-0076



❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀

【校　　訓】剛き意志　深き愛　自由の胸　純なるこころ
【学校教育目標】人間力で自立する生徒の育成
【目指す学校像】ウェルビーイングを実現する学校
生徒数　１年６９名　２年６１名　３年７５名　合計２０５名

本物に触れる

校長　板倉邦弘

去る９月25日(金)26日(土)、新人体育大会兼県民総合スポーツ大会秩父郡市予選会が行われました（相撲は 10 月 2 日(金)）。例年の９月は猛暑で熱中症の心配をしながらの部活動でしたが、今年は雨の日ばかりで、外での活動が思うようにできないという難しさがありました。そんな中で、多くの部が、入賞や優勝・準優勝など、表彰集会の時間を心配しなければならない程の成果を上げることができました。送迎やお弁当の用意、応援等でご協力いただきました保護者の皆様にも御礼申し上げます。

今回の本題に入る前に、保護者・地域の皆様へ淋しいお知らせがあります。今、テレビや新聞で盛んに「クビアカツヤカミキリ」による樹木被害が報道されています。クビアカツヤカミキリは、桜や梅等の樹木に大量の卵を産み付け、内側から幼虫が容赦なく樹木を食い荒らし枯らしてしまう特定外来生物の昆虫です。皆野中学校西側の駐車場には、立派な桜の木が立っており、皆中の新年度は、満開の花の下で集合写真を撮るのが恒例となっていました。しかし、もうその桜の木はありません。この木にもクビアカツヤカミキリの被害が確認され、夏季休業中に根元から伐採の措置がとられました。樹齢は分かりませんが、皆野中学校を何十年も見守ってきたであろう大樹が無くなってしまったことは、本当に淋しいことです。地域の皆様の中にも、あの桜の木にまつわる思い出がある方がいらっしゃると思います。小さな昆虫に屈してしまうことに、やりきれない思いを持たざるを得ません。

さて、本題に入ります。10 月 1 日（木）本校体育館を会場に、群馬交響楽団を招いて芸術鑑賞会を開催しました。本物の音楽や演劇などの芸術に触れる機会をできるだけ持ちたいと思いながら、財政的な問題もあることから単独で開催することはなかなか難しい昨今です。そこで、無料で本格的な芸術鑑賞ができる文化庁主催の学校巡回公演事業には毎年応募しておりました。しかし、これを希望する学校が多く、これまでなかなか抽選で選ばれず、今年度やっと実現することができました。本格的なオーケストラの演奏を聴けることは滅多にあることではありません。私もその日を迎える前からワクワクしておりました。

群馬交響楽団は、1945 年、戦後の荒廃の中で文化をとおした復興を目指して創立された歴史と伝統のある楽団で、高崎市を拠点に活動しています。現在、埼玉県内の小中学校の巡回公演が続いており、前日には狭山市の小学校で行い、11 月には高篠小学校でも公演を予定しています。ロッシーニやシュトラウス二世、ブラームス、ベートーヴェンといった有名な音楽家の楽曲はもちろん、草津節や皆野中学校校歌に至るまで、壮大な演奏を聴かせてくれました。また、各学年代表生徒による指揮者体験も楽しみました。

このように本物の文化芸術に触れることは、人の心を耕し、豊かにしてくれます。これからも様々な分野で本物に触れる機会をつくりたい、そう思った秋の午後でした。